

DDFトラック3月発売へ

軽油・LPガス混焼 内覧会でデトロPR

一般家庭300世帯分の年間消費量を賅う

エフ・ケイメカニックス

エフ・ケイメカニックス 自動車部が開いた内覧会に（本社・大分市、古川克 登壇し、大きな注目を集めた。己社長）が開発を進めてきたディーゼルデュアル

フューエル（DDF、軽油とLPガス混焼）トラックが9日、LPガス内燃機工業会（衛藤五男会長）と門倉商店（本社・東京、市橋信之社長）がの出来栄を試乗しながら佐倉市の門倉商店液化自



実車の前で握手する衛藤五男氏（左）と古川克己社長

5)を開き、特約店と三愛オブリガス各社直販部門の日常業務から生まれた事例を共有した。松村・三愛オブリガス

に事例発表がある。現もに「補助金活用」市、福岡市の某院で披露会場で培ったスキルを生かして「リフォーム」(鎮)を開いた。燃料は運転条件に合わせた事例をもとにお客さま

来年3月発売予定。改などを踏まえ決定する。見込も。造費は走行テストの結果 事実上の発売初年度とな

容器配送車に最適

LPガス事業者から熱視線

DDFトラックはその営業部長によると、同日名称通り、軽油とLPガスの混合燃料を使って走る。混合割合は状況によって異なるが、巡航運転の時にLPガスの割合が高まるようだ。末宗睦郎



燃費削減・オートガス需要増の両方に期待大

DDFトラックの利点は、ディーゼルトラックをベースにしているところにもある。現在メーカーから発売されているLPガストラックはガソリンベースのため、ディーゼル力強さを求める事業者には物足りなさも残るのが事実だ。DDFトラックはディーゼルエンジンの性能をそのままに活用できるため、容器配送車としての潜在能力も十分と言える。

渡辺プロパンガス(本社)は11月、エコアと共同運用するエコアガス



繁忙期の効率アップに期待

太陽ガス HPに料 南九州初

太陽ガス(本社・日置市、小平電平社長)は8日、ホームページでLPガス料金の公開をスタートした。ホームページでの料金公開は九州エリア初で、全国でも14番目。更新は毎月行う。同社が提供する各種料金メニュー(一般料金A、同B、エコジョーズ、スマイルホット、エコスマイル)ごとの基本料金と従量料金、調整額を明記し、2部料金制や原料費調整制度の仕組みも説明